

# Freude

vol. 8 -28 2016. 8.31. wed

9/2(金)は運番1000  
本番にお420000.

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626  
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B  
ホームページ <http://www.osakafreude.com>  
メールアドレス [info@osakafreude.com](mailto:info@osakafreude.com)

## チケットまだある300枚?

8/24時点では約500枚超...という報告でした。

いよいよ本番は300席あるからですね。

チケットは何回申し込んでくれるかな?

お忘れした「お心遣いある人、いつもお420000人」の1人

1巡目の申し込みしたと聞いたら、今は「もう申し込みあかんも...」

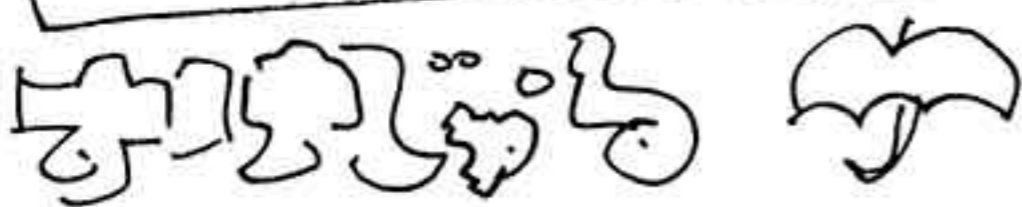
α. 第2段階の申し込みの人。2巡目の申し込みして下す? ほん

まじ 2巡目済んだ人は「場合によっては申し込みいけなくなるかも」

の第3段階の申し込みの人もなくなる? あるいは

何回か申し込みした人にも「申し込みした(田)」あきらめ

初回のキャンセルについてあきらめようね!! 200枚以上は運番、アホ!!



9/17(水) 18:30 北区民センター (最終)

9/11(日) 13:15 北区民センター (千鳥橋)

9/14(水) 18:30 北区民センター →

21(土) 18:30 //

28(土) 18:30 //

北区民センターの今期は9/22  
まで? あ! 本番は運番!!



次回の楽譜、今日から販売しますっ！お早めにどうぞっ！

ヴィヴァルディ「グロリアミサ」(カールス版) 1400円

ケルビーニ「荘厳ミサ ト長調」(カールス版) 2800円

本番は、2017年6月21日(水) いずみホール (オケ合せは6月19日(月)) だよっ！

今、コツコツと、9月初旬予定の練習CD録音作業目指して、CD聴きながらエアキーボード(?)に励んでいます。ホント、聴けば聴くほど、ステキです！

ヴィヴァルディのグロリアミサは、バロックのアカースティックな響き満載！筆者の拙い知識では、ヴィヴァルディと言えば「四季」ですが、この、グロリアミサは、ある部分は「夏」ある部分は「冬」ある部分は「春」、頭の中には、ボッティチェリの絵画が広がる感じです。合唱は、あたかも管楽器のようだったり、弦合奏のようだったり、バロック音楽の一部、として、音楽を形成してるムード。いままでのフロイデには無い新しい取組になりそうです(^♪

一方ケルビーニは、誤解を恐れずに言うと「これ！ベートーヴェンのミサ・ソレムニスだ！」(事実、ベートーヴェンは、ケルビーニの荘厳ミサを聴いて感動して、自分も荘厳ミサを描こうと思った、というエピソードがあり！ただしケルビーニは「荘厳ミサ」と呼ばれるものをたくさん描いたので、ベートーヴェンのエピソードがどれに該当するか、はよくわからないっ)このケルビーニの「荘厳ミサ」、モーツァルトやシューベルトには無い重厚感、文字通り「荘厳」な感じがあります。オーケストラの編成が、これまで取り上げたモーツァルトやシューベルトよりも大きいことも要因ですが、それ以上に、音楽のドラマチックな運びが全然違う！

ベートーヴェンの子ども向きの伝記には、影響を与えた音楽家として、モーツァルトとハイドンしか載っていないものが殆どですが、直接の音楽的な影響であり、お手本となったのは、ケルビーニに違いない！って、思っちゃいました。メロディの感じも似てるのよね。ケルビーニの今回の曲の「Kyrie」なんか、ベートーヴェンのミサソレ最終章の「Dona nobis pacem」の静かなゆったりした繰り返しの祈り、を思い出しました。また、いくつか「フーガ(かえるのうた、のような輪唱の高級なヤツ)」が登場しますが、これも、ベートーヴェンのミサソレを思い出させました。聴いて「これは、ファイト湧くなあ！」って感じ(^♪ ちなみに男声大活躍ですよ！クレドの受難場面は男声合唱ですっ！ケルビーニはオケの編成も大きくなるし、今居る団員はモチロン、ぜひ、たくさんのメンバーでうたいたいなあ。

全然ムードの違う2曲。共通するのは「明るさ」！グロリアはもちろん、ケルビーニも「ルイ18世の戴冠式のための荘厳ミサ」なので「お祝い」ですよ！楽しいし、手ごたえも歯ごたえもある2曲ですっ！まずは、楽譜購入よろしくっ！お友達も誘って！

ハンディCDプレイヤーを買った  
楽譜も2  
エアキーボードも2  
電車の中のアサイン。

